（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和　7年　3月18日（火曜日）　15 時30分頃						天候	晴れ		
災害の程度	死亡　　名		負傷　1名		職種　圧送業		年令56才		経験年数18年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他	
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況	［件　　名］ 基礎コンクリート打設後の配管清掃作業において、バランスを崩し咄嗟に飛び降り左足を負傷 ［作業内容］ 　鉄塔基礎コンクリート打設後の配管洗浄作業において，圧送車荷台に載せた配管上で作業をしていた際に，配管ラックガイド（荷台の囲い）に躓きバランスを崩し転落しそうになったため，咄嗟に自ら飛び降りた際，先に着地した左足を負傷した。 ［発生状況］ 　　災害概要図 ［被災程度］ 　　踵骨骨折　全治３カ月 ［服装・装備］ 　　ヘルメット，防寒服（上：防寒着・下：カッパ），防寒手袋（ゴム手袋），長靴，作業着，フェイスガード
	［発生原因］ ・いつもは配管を地上で清掃していたが、圧送助手が清掃前に配管を荷台に載せた。仕切り直して地上に配管を下ろさず、そのまま荷台の上で清掃してしまった。 ・足元が不安定な場所で、後ろ向きに移動しながら作業した。 ・後片付けなので作業を軽視した。危険な作業と思わず注意しなかった。 ［再発防止対策］ ・圧送業者は、配管は地上で清掃することを作業員に教育する。 ・圧送オペは助手に対し作業前に作業手順の説明をし、作業の要所要所で声掛けをする。 ・作業員は配管を地上に下ろし、足元が安定した場所で作業する。 ・作業員は、相互監視で作業し、危ないと感じたら躊躇せずに、注意し合う。 ・作業員は、作業は常に危険と感じ、高さ2m未満の作業でも軽視せず、慎重に安全な方法で行う。 ・作業員は、省略行為はせず、配管を地上に下ろして清掃する。 ・作業員は、軽作業であっても、最後まで緊張感をもって作業する。 ・現場管理職員は、本災害を題材に再発防止対策を、スポット業者安全確認書を取交す際に作業員に周知し安全意識の高揚を図る。 ・現場代理人は、本災害を題材に再発防止対策を現場管理職員に周知し、安全意識の高揚を図る。

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

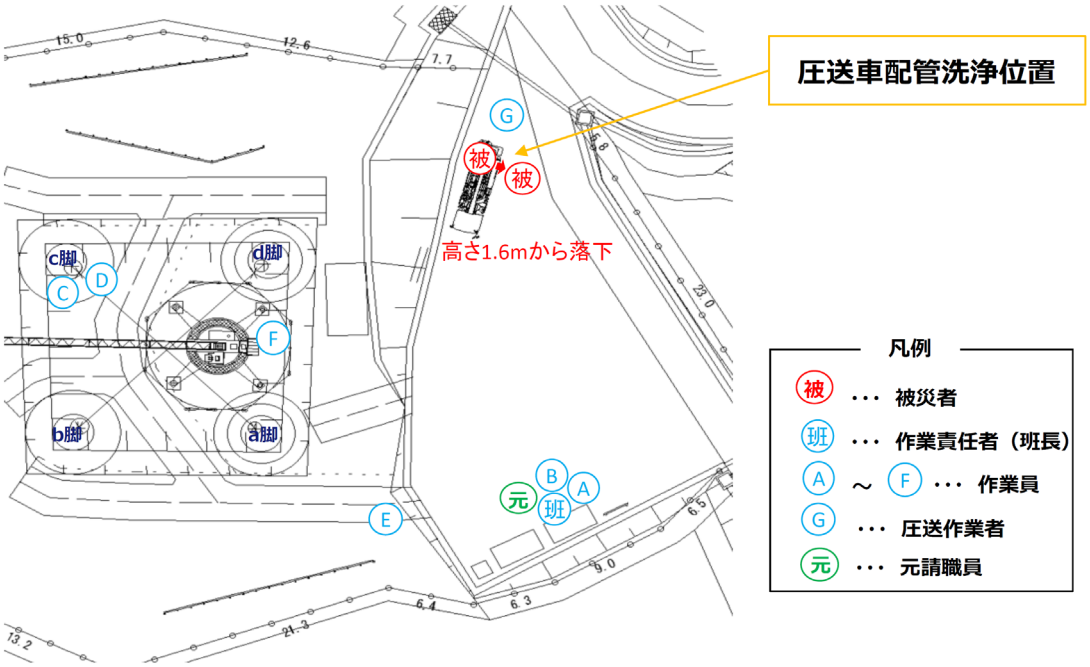
2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

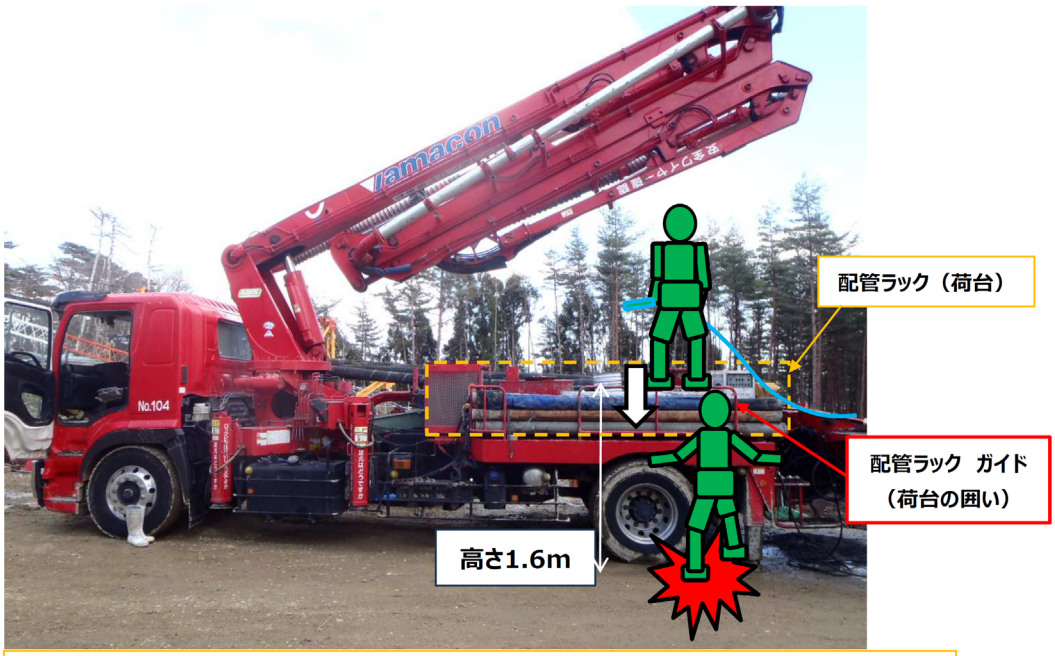
災　害　概　要　図

発生状況

被災状況図



被災状況写真



発生状況

被災者は，配管ラックのガイドを背にして配管を清掃していた。配管上を後退しながら清掃をしている最中に，配管ラックのガイドに躓きバランスを崩して後ろ向きに転落しそうになったため，自ら後ろ向きのまま飛び降りて着地を試みたが，体勢が悪く先に着地した左足を負傷した。